

あかれんが

vol.18

川田院長より新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。今年ほど新年の有難さを実感できることは、ここ数年なかったことだと思います。コロナも2類から5類に扱いが変更し、横浜中央病院も地域医療にどのように係わればいいのか、そして救急医療にどうすれば貢献することができるのか、少しずつですがわかってまいりました。

また一方ではコロナに携わったことで、より一層我々の診療が様々な分野に、そして急性期から慢性期まで境目なく連続して求められていることがわかりました。夜間救急で搬送された患者さんと、そのご家族が、安心して医療を受けられる場を提供して、さらに一日でも早く日常生活に復帰できるように、地域の各医療機関と積極的に連携を取り合って、質の高いそして境目のない医療連携を実現させましょう。

これからは地域住民の様々な要望にこたえ、生活を支えるため、皆様の立場に立った医療を提供し、今後も「**温かい心と気配りの医療**」を基本理念に皆様のお役に立ちたいと考えています。そして今後も変わらぬ姿勢でコロナ禍後の医療に対処して皆様と共に明るい未来を創っていきたいと思います。本年が素晴らしい一年になりますようにお祈り申し上げます。今年もよろしくお祈りいたします。





JCHO学会をご紹介致します

- 去る12月8日(金)・9日(土)の2日間三重県津市で、第8回 JCHO地域医療総合医学会(通称JCHO学会)が開催され、当院からも合計13題の研究が発表されました。
- この学会は、我々の母体であるJCHO(地域医療推進機構)の一般社団法人が主体となって開催する学会で、地域医療に関する調査研究、教育の促進、医療の質の向上など医学・医療の発展を目的に毎年開催しております。当日は川田病院長をはじめ、多くの職員が参加しています。今年は特別講演として宮本亜門さんによる「がん体験は命の勲章」のご講演があり、大変興味深い内容でした。



座長の川田病院長



当院が行なった心臓リハビリテーション市民講座における広報活動の取り組み



大腿骨骨折患者の周術期におけるイレウスを予防する看護



自宅への退院が困難となる要因 - A病棟看護師への質問紙調査からの一考察 -



部署紹介コーナー（療養支援科編）

看護師4名が地域ケアサービスセンターに配置されており、以下の業務を主に行っています。

- ・地域の病院、施設、開業医、在宅等からの入院や受診の相談の対応
- ・地域からの入院・転院や緊急入院の患者様の検査等の実施、情報収集
- ・自宅に退院する方の退院調整・支援のサポート
- ・入院予約時のオリエンテーションと問診
- ・外来患者の受診相談

よろしくお願いいたします

院内外のお職種や他部署と連携をとり、患者様が住み慣れた地域での生活が続けられるよう、支援しています。急を要する受診や入院相談の対応は、専任の看護師が行っております。ぜひご相談ください。



はじめまして 横浜中央病院のマスコットが誕生しました♪

よこちゅうまい

チャームポイント
ふっくら包み込むような笑顔

患者さんを温もりと
優しさで包みたい

出身：横浜中華街
誕生日：2023年10月31日



スタッフによる作品応募・
投票により誕生しました♪
どうぞよろしくお願いいたします！

情熱とやる気が
皮いつぱいに詰まっています

横浜中央病院の皆さんと地域の方々を一生懸命サポートします！
横浜中華街すぐ隣の病院で待っています♪



健康フェスタを開催しました

令和5年9月14日(木)9時30分から11時30分まで『健康フェスタ2023』を開催いたしました。例年、当院で健康フェスタを開催しておりましたが、今回は病院と地域の連携を図るため初の試みとして、近隣の横浜市寿町健康福祉交流センターで開催することが出来ました。



当日は、院長をはじめ看護部長、薬剤部長、認定感染管理者、副看護師長20名で会場に伺い、横浜市寿町健康交流センターの1階多目的室を使用させていただき、測定・相談・体験など様々なコーナーを配置しました。

血圧測定や握力測定・血糖測定を行い、自身の健康チェックで自身の健康を考えるきっかけにもなりました。また、フットケアでは爪の切り方・足のお手入れの指導を行いました。感染予防のための手洗い指導では、手洗いトレーニングボックス（グリッターバッグ）を使用して、きちんと手が洗えているかを確認していただき、これまでとはちょっと違った体験をしていただきました。ミニ講座では、薬剤師や認定感染管理者・看護部長による健康・看護相談で日々の疑問や不安解消のお手伝いが出来たと感じています。

46人以上の方々にご来場いただきとても活気ある健康フェスタとなりました。会場を後にする方々からは、「健康に気を付けます」「半年に1度来てほしい」「すごくタメになったので続けて欲しい」と笑顔がたくさんありました。来年も多くの皆さまにお会いできることを楽しみにしております。





『ハローよこはま2023』に参加しました

- 中区民祭り「ハローよこはま2023」が11月12日日曜に、みなとみらい地区の象の鼻パークにて開催され、当院も中区医師会のお手伝いとして参加致しました。
- このお祭りは昭和51年から続く伝統のある中区の祭りで、当院もコロナ禍前から医師会のお手伝いとして参加しております。
- 私たちは昨年同様血管年齢測定装置を利用した健康相談で市民の皆様の健康増進の助けになればと頑張りました！
- 当日は小雨が降り、とても寒いあいにくの天候でしたが、それでも沢山の市民の方に訪れていただきました。横浜市山中市長や行政の方々も来訪し、合計100名弱の市民の健康相談を行うことができました！



ブースには行列ができるほどの人気でした。

中区のマスコット
スウィングーも参加です。



参加者一覧：川田院長、藤川統括診療部長、茂木看護部長、高山看護副部長、進士総務企画課長、櫻木医事課長、佐伯副看護師長、牧野副看護師長、大岩の9名

文責 副院長・地域ケアサービスセンター長 大岩功治



新しく横中に加わった医師を紹介します



10月1日付採用
山田 勝 医師
(やまだ まさる)
脳神経外科部長



10月1日付採用
井戸田 泰典 医師
(いとだ やすのり)
呼吸器内科



10月1日付採用
上原 璃央 医師
(うえはらりお)
泌尿器科医師



1月1日付採用
駒橋 充 医師
(こまはしみつる)
外科非常勤



1月1日付採用
有田 将梧 医師
(ありた しょうご)
整形外科非常勤



1月1日付採用
松田 優史 医師
(まつだ ゆうし)
整形外科非常勤



1月1日付採用
鯨岡 裕平 医師
(くじらおか ゆうへい)
救急科非常勤

皆様
宜しくお願
いします



おわりに…

この度の「令和6年能登半島地震」により、甚大な被害が発生しております。謹んで犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。JCHOもグループをあげて支援活動を開始しております。皆様におかれましてもご心痛のことと思いますが、この難局を一緒に乗り越えていきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

副院長 兼 地域ケアサービスセンター長 大岩功治



独立行政法人 地域医療機能推進機構

横浜中央病院

Yokohama Chuo Hospital

〒231-8553 横浜市山下町268番地
TEL : 045-681-9534 (地域連携室直通)
FAX : 045-681-9542
E-mail : Chiikirenkei@yokohama.jcho.go.jp
URL : <https://yokohama.jcho.go.jp/>

